

NTT東日本 関東病院

連携ガイドブック

(医療従事者向け)

2024 Ver.



人と、地域と、“つながる医療”





4階

再来受付係

受付
入口

6F

全館案内

1F案内図

11
12

受付係

入館時は
手洗いとマスク
をお願いします

池田山
IKEDAYAMA
garden cafe
1994.10.12

目次

施設紹介	1
連携部門のご紹介	2
診療予約	3
医療機器の共同利用	4
東京都医療連携手帳／心不全連携（JHeC）	5
五反田膀胱癌連携プロジェクト	6
がんゲノム医療	7
最新医療機器	8
各支援プログラム	9~10
産科のご案内	11~12
各病棟のご案内／入院費後払いサービス	13~14
病室のご案内	15
早期警戒システム	16
診療科のご紹介	17~26
消化管内科 / 肝胆膵内科 / 循環器内科 / 心臓血管外科	
糖尿病・内分泌内科 / 高血圧・腎臓内科 / 呼吸器内科 / 呼吸器外科	
脳血管内科 / 脳神経内科 / 脳神経外科 / ガンマナイフセンター	
整形外科 / スポーツ整形外科 / ペインクリニック科 / リハビリテーション科	
腫瘍内科 / 血液内科 / 外科 / 泌尿器科	
乳腺外科 / 形成外科 / 産婦人科 / 小児科	
リウマチ膠原病科 / 皮膚科 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 眼科	
救急科 / 総合診療科 / 国際診療科 / 感染症内科	
精神神経科・心療内科 / 緩和ケア科 / 歯科口腔外科 / 麻酔科	
放射線科 / 予防医学センター / 病理診断科 / 集中治療科	
当院ホームページのご案内／アクセス	27~28



施設名	NTT東日本 関東病院		
所在地	〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22		
電話（代表）	03-3448-6111	FAX（代表）	03-3448-6617
電話（医療連携室）	03-3448-6192	FAX（医療連携室）	03-3448-6071
許可病床	594床（一般病棟544床 精神病棟50床）		
診療科	救急科	総合診療科	国際診療科
	循環器内科	心臓血管外科	呼吸器内科
	呼吸器外科	脳血管内科	脳神経外科
	脳神経内科	高血圧・腎臓内科	消化管内科
	肝胆膵内科	糖尿病・内分泌内科	血液内科
	リウマチ膠原病科	腫瘍内科	感染症内科
	外科	整形外科	スポーツ整形外科
	乳腺外科	形成外科	歯科口腔外科
	皮膚科	泌尿器科	産婦人科
	小児科	眼科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	精神神経科	心療内科	放射線科
	麻酔科	集中治療科	ペインクリニック科
	リハビリテーション科	緩和ケア科	病理診断科
	ガンマナイフセンター		
主な施設指定等			
地域医療支援病院		地域がん診療連携拠点病院	
東京都指定二次救急医療機関		災害拠点病院	
がんゲノム医療連携病院		難病医療協力病院	
DPC特定病院群		基幹型臨床研修病院	
国際病院評価機構（JCI）認定		卒後臨床研修評価認定	
JMIP（外国人患者受け入れ医療機関認証制度）認証			
JIH（ジャパン・インターナショナル・ホスピタルズ）推奨			
人間ドック・健診施設機能評価認定			
輸血機能評価（I&A）認定		ISO15189認定	



副院長

郡司 俊秋

看護部長

相馬 泰子

院長

大江 隆史

副院長

渋谷 祐子

副院長

小松 孝美

連携部門のご紹介

医療連携室

総合相談室

がん相談
支援センター



1 医療連携室

地域の医療機関と当院をつなぐパイプ役・コーディネーター役として、様々な業務に対応しております。

[主な活動]

- ・地域の医療機関からの受診調整、問合せ、ご相談などの対応
- ・画像検査（共同利用）の予約受付、問合せの対応
- ・セカンドオピニオンの調整
- ・逆紹介の推進（かかりつけ医の検索、患者対応 など）
- ・地域の医療機関、医師会などへのご訪問、連絡調整
- ・地域連携パス運用の支援
- ・医療連携協力医療機関制度（登録医）の管理
- ・医療連携セミナー、関連イベントの開催
- ・広報活動

[スタッフ]

- 吉田 幸成（課長、事務、渉外担当）
- 大久保 哲（事務、渉外担当）
- 宮部 菜月（事務、渉外担当）
- 松島 久美子（看護師、患者トリアージ担当）
- 大橋 英理（MSW、窓口担当）
- 大森 記世実（事務、窓口担当）
- 仲山 かおり（事務、窓口担当）
- 大瀧 奈都子（事務、窓口担当）
- 石井 歩美（事務）

[お問い合わせ]

TEL：03-3448-6192 / FAX：03-3448-6071

〔電話受付時間：平日 8:30~17:00〕

2 総合相談室

病気に伴う療養生活、家族、仕事、経済的な相談や福祉制度、施設利用などの相談を専門のソーシャルワーカーや看護師がお受けし、相談支援を行うとともに、地域との連携向上への取り組みも行っています。

[主な相談支援・活動]

- ・退院支援
- ・外来患者の在宅療養支援
- ・経済的相談
- ・社会復帰・就労支援
- ・支援機関や制度の情報提供
- ・地域との退院前カンファレンス・退院前訪問
- ・地域関係機関との連携活動

[構成職種]

医師、看護師、ソーシャルワーカー、クラーク

[お問い合わせ]

TEL：03-3448-6213

〔受付時間：平日 9:00~17:00〕

3 がん相談支援センター

当院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、がんに関する相談対応を行う「がん相談支援センター」を設置しています。当院以外の患者さんやご家族、市民の方、地域医療機関などからの相談にも対応いたします。

[主な活動]

- ・病気や治療、療養に関する一般的な情報の提供
- ・がんにかかったことによる不安や悩みなどへの対応
- ・療養生活するうえでの様々な心配への相談対応
- ・在宅療養や転院、緩和ケアについての情報提供や調整
- ・医療費などの経済的な心配や、仕事に関する悩み、制度活用のための相談対応
- ・個別相談のほか、がん患者さんやご家族のための患者会の運営や、社会保険労務士と一緒にを行うお仕事相談会の開催

[構成職種]

医師、看護師、ソーシャルワーカー、クラーク

[お問い合わせ]

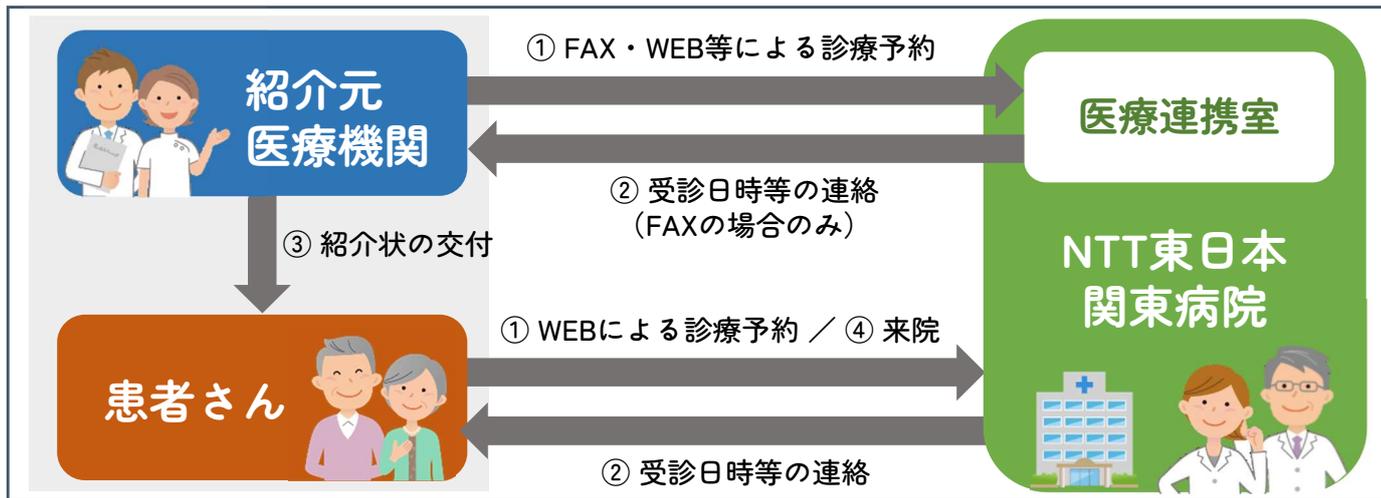
TEL：03-3448-6280

〔受付時間：平日 9:00~17:00〕

※対面相談希望の方は、事前に電話で予約をお取りください。

診療予約

詳細や診療申込書
紹介状などはHPへ



各種連絡先

医療連携室 TEL：03-3448-6192 / FAX：03-3448-6071

〔電話受付時間：平日 8:30~17:00〕

※医療機関専用の窓口ですので、患者さんご自身がご予約をお取りする場合は、代表番号におかけいただきますよう、ご案内をお願いいたします。

病院代表	TEL：03-3448-6111	
救急センター	TEL：03-3448-6000	〔平日 17:00~8:30 / 休診日24時間〕
脳卒中ホットライン	TEL：03-3448-6599	〔24時間〕
腹痛ホットライン	TEL：03-3448-6012	〔平日 9:00~20:00〕
胸痛ホットライン	TEL：03-3448-6292	〔24時間〕

おすすめ

WEB上で初診予約ができます！

当院の登録医から...

患者さんから...



WEB紹介予約システム(e連携)をご利用ください

24時間365日、ご予約可能なWEB上のシステムです。専用予約枠を設けているため比較的予約が取りやすく、専門領域ごとの予約も可能です。

- 注意**点
- ・当院の登録医のみご利用いただけます。
 - ・一部の診療科は対象外です。
 - ・初診患者さんのご予約に限ります。
 - ・医師のご指定はできません。

オリジナル
マグネット
配布中！



WEB初診予約申し込みフォームをご利用ください



24時間365日、受診予約の申し込みが可能です。

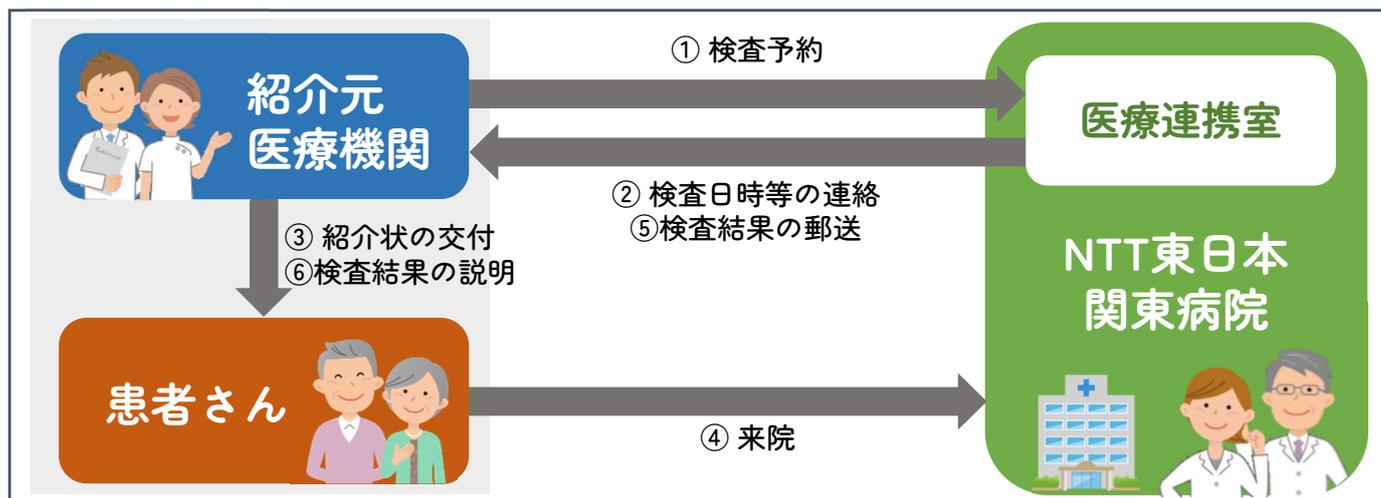
<対象者>

- ・紹介状をお持ちの初診の方
- ・当院で人間ドックを受けられ、紹介状をお持ちの初診の方

- 注意**点
- ・お申し込みされた時点では予約確定ではございません。
 - ・一部の診療科は対象外です。
 - ・初診患者さんのご予約に限ります。



紹介状等に貼れる
患者さん案内用の
ラベルシール配布中！



1 検査の種類

CTおよびMR

頭頸部、脊椎・脊髄、胸部・腹部
骨盤部、四肢・関節疾患など

核医学（アイソトープ、RI）

※FDG-PETなどのPET検査は、
設備がなく対応できません

骨塩定量測定

DEXA（dual-energy
X-ray absorptiometry）法

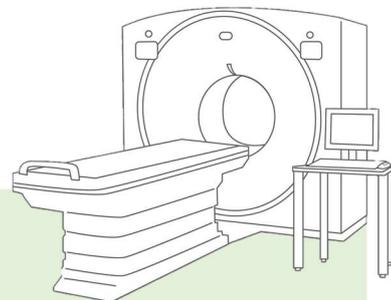
各種生理検査

ホルター心電図・脳波検査
エコー（腹部・表在・頸動脈・心）

2 検査結果のお渡し方法

CTおよびMR検査、核医学検査

放射線診断専門医が画像診断の上で報告書を作成し、
当院検査日から **1週間以内** に郵送いたします。
（到着までにお日にちをいただく場合がございます。お急ぎの場合は、FAXで写しをお送りいたします。）
検査画像は、PCで閲覧可能な画像ディスクでご提供いたします。



骨塩定量測定検査

検査当日に紙に印刷し、患者さんにお持ち帰りいただきます。

各種生理検査

担当医などが判読の上で報告書を作成いたします。
検査画像は、PCで閲覧可能な画像ディスクでご提供いたします。

3 注意点

- ・当院では患者さんに検査結果を説明いたしませんので、ご依頼の先生から患者さんにご説明ください。
- ・予約・変更・キャンセルは、貴院よりご連絡をお願いいたします。

東京都医療連携手帳

詳細は
HPへ

当院は、地域医療機関との連携協力体制をより充実させるべく、「東京都医療連携手帳（がん地域連携クリティカルパス）」を活用しています。

*東京都医療連携手帳とは？

- ・都内医療機関が共通に使用できる5大がん（肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん）および前立腺がんの地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」です。
- ・手術など専門的な治療を行った病院とかかりつけ医が協力し、専門的な医療と総合的な診療をバランスよく提供する「共同診療体制」を構築することを目的としています。

手帳を使うメリット

■ 計画に沿った適切な診療の提供

- ・診察予定表により、患者さんが「いつ」「どこで」「どんな」検査や診察を受ければよいか分かる。
- ・かかりつけ医と当院で患者さんの診療情報を共有できるため、より適切な診療が可能になる。

■ 2人の主治医がいる安心感

- ・かかりつけ医と当院の医師の2人が患者さんの主治医をつとめることで、患者さんは安心して療養することができる。



患者さん

東京都医療連携手帳
による情報の共有かかりつけ医
(近所のクリニックなど)日頃の診療を
担当

NTT東日本関東病院

年に何回かの
専門的診療を
担当

心不全連携 (JHeC♡)

詳細は
HPへ

多施設多職種とのシームレスな医療連携を確立し、より良い心不全連携構築のため多施設多職種が共有できる*ハートノート™を用いた地域連携を推進しております。

ハートノート™とは？

急性増悪に伴う再入院予防のエビデンスを有する自己管理ツールです。当院では、心不全教室終了後におさらいテストを実施し、患者さんへ指導を行っております。



名称

本会は、JONAN Heart Failure Medical Collaboration♡
(略称：JHeC♡) と称する。

入会医療機関

2024年4月時点（順不同）

池上総合病院、荏原病院、大崎病院 東京ハートセンター、大田池上病院、大田病院、大森赤十字病院、昭和大学病院、東京蒲田医療センター、東京蒲田病院、東京品川病院、東邦大学医療センター大森病院、牧田総合病院、NTT東日本関東病院

品川区 ... 区の鳥「ゆりかもめ」

大田区 ... 羽田空港「飛行機」

背景 ... 「東京湾」

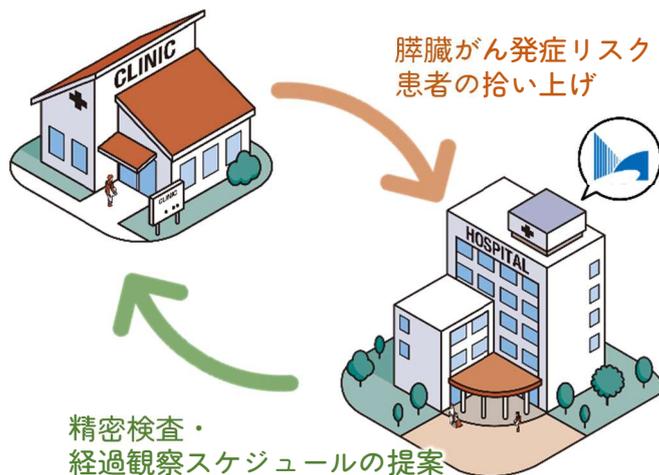
心電図 ... 5色
「5つの医師会」

JHeC♡ロゴ



地域の先生方との病診連携を通して、膵臓がんを疑うサインが発見された場合や、膵臓がん高リスクの方を対象に、定期的なフォローアップや必要時に迅速な精密検査を行って早期に診断を行うものです。

プロジェクトの特徴は、地域の先生方と連携して定期的な検査を行っていくことにあります。リスクに応じて当科で検査スケジュールを提案させていただき、共同して経過観察を行うことで早期発見・治療成績向上に役立てていきたいと考えております。診断後は、肝胆膵内科・外科・腫瘍内科で連携しながら治療を行っていきます。



膵臓がんの発症リスクと考えられる項目

症状（膵臓がん患者における症状の割合）	原因のはっきりしない腹痛（78-82%）／背部痛（48%）／食欲不振・早期飽満感（62%）／黄疸（56-80%）／体重減少（66-84%）
糖尿病	1年未満：5.38倍／1～4年：1.95倍／5～9年：1.49倍／10年以上：1.47倍 特に診断早期の方、急な増悪傾向を認める方
血液検査異常	膵酵素異常：アミラーゼ、リパーゼ、エラスターゼⅠ 膵腫瘍マーカー異常（2cm以下の膵臓がんにおける陽性率）： CA19-9（53.2%）、Dupan-2（37.2%）、Span-1（50.7%）、CEA
画像検査異常（膵臓がん罹患リスク）	膵のう胞（3倍）、膵石灰化（13.3倍）、膵管拡張、膵腫瘍、胆管拡張
患者背景（膵臓がん罹患リスク）	膵臓がんの家族歴（4.5-32倍）、慢性膵炎（13.3倍）、肥満（BMI30以上で1.71倍）、飲酒（1.22倍）、喫煙（1.68倍）

【主治医の先生へ】

毎日胆膵グループの医師が外来を行っております。上記のような膵臓がんリスクを有する方がいらっしゃいましたら、いつでも肝胆膵内科にご紹介ください。

人間ドック（膵臓関連）

その他の人間ドックはこちら



● 膵臓・胆のう・胆管がんコース（1日）

膵管・胆道から発生するがんの診断に有用なMRI（MRCP）、腫瘍マーカーによるスクリーニングを含む

● マイクロアレイ検査コース（1日）

胃・大腸がん、胆道がん、膵臓がんについて判定できる血液検査を含む

● 2日コース②

上部内視鏡検査、胸部CT検査を標準検査として備えた全身的なスクリーニング、膵管・胆管の画像を撮影するMRI（MRCP）検査を含む

[人間ドックに関するお申し込み・お問い合わせ]

健康管理棟2階 人間ドック受付 TEL：03-3448-6275 [受付時間：平日 10:00～16:30]



がん細胞にはその特徴を決める複数の遺伝子の変化があると考えられています。その遺伝子変化は個体間で異なるため、その情報を調べ診断や個々にあった治療法を行う医療が「がんゲノム医療」です。方法としては、がん細胞（と正常細胞）からDNAを抽出し、代表的ながんに関わる遺伝子の配列変化を調べます。その検査に用いるのがパネル検査であり、現在いくつかの有用なパネルが報告、運用されています。

当院は東京大学医学部附属病院（以下 東京大学病院）と協力し「がんゲノム医療連携病院」として「がんゲノム医療」を実施しています。5種類のがん遺伝子パネルのいずれか一つを用いて解析を行います。この解析を行うことによってがんの特徴を調べ、遺伝学的な診断やその特徴に対して創薬されている治療薬がないかを調べる個別化医療です。

適応基準

- 悪性腫瘍と診断されている（癌腫、肉腫いずれも含むが血液腫瘍を除く）、18歳以上の方
- 治癒切除不能または再発により、標準治療による根治が難しいと考えられる方
- 標準治療がない、標準治療が終了している、もしくは終了が見込まれる方
- 全身の状態が比較的良好である方
- がんを含む病理標本があり、採血も可能な方
- 同意が得られている方

※ 紹介・予約は主治医の先生から当院の医療連携室を通して行いますので、主治医の先生のご承諾が必要です。

【主治医の先生へ】

適応基準の詳細は、当院ホームページまたは右上のQRコードより、「がんゲノム検査希望の患者さんを紹介いただく主治医の先生へ」を参照ください。



新装置では人工知能を活用した画像処理技術が導入されており、従来よりもノイズの低減ができ、より短時間で高画像を得ることが可能になりました。これにより、患者さんの負担を軽減し、検査スループットが向上しました。

さらに、新装置では検査中に映像や音楽を楽しむことが可能となり、狭い空間での不安を軽減し、リラックスした状態で検査を受けることができます。

患者さんからの声

- ・閉所恐怖症の私でも安心して検査を行えました
- ・検査中に退屈しなかった
- ・息を止めるのが楽になった
- ・またここで検査を行わせて欲しい



MR 7700 3.0T(Philips)

国内一号機!



ロボティックアーム

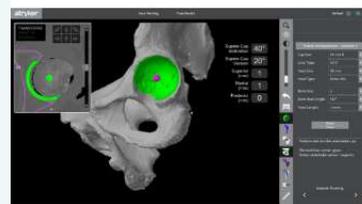
■整形外科

人工股関節全置換術、人工膝関節全置換術

《利点》

人の手のようにぶれることがなく、正確に動き、また止まることです。ナビゲーションで計画した通りに手術器具を移動することができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能になります。治療計画通りの安全かつ正確な手術を可能にします。

※2019年6月に保険適用となった手術です。



ハイブリッドオペ室

ハイブリッドオペ室は、血管撮影装置が備わった手術室です。内科による血管内治療と外科的治療を同時に実施することで、患者さんの負担軽減を実現する先進的な設備です。

《利点》

- ①通常の手術室と同等の清潔度が保たれた状態でカテーテル治療ができる。
- ②画像の精度が抜群に良い。エックス線撮影された血管画像はすぐにモニターに転送され、そこからCT画像や3D画像を構築することもできる。
- ③画像下の治療を行う幅広い領域での利用が期待できる。



発達障害専門プログラム

詳細は
HPへ

当院では、発達障害の診断を受けている方、発達障害の傾向がある方を対象に、コミュニケーションプログラムを行っています（18歳以上の方を対象としています）。

プログラムの内容

プログラムは、3つの要素で構成されています。

- ①コミュニケーションプログラム：「会話を始める」「アサーション」など
- ②心理教育：「感情のコントロール」「ストレスについて」など
- ③ディスカッションプログラム：「相手への気遣い」「ピア・サポート」など

*テキストを使いながら、職場や日常生活の困りごとや工夫していることを話し、コミュニケーションの練習や自分自身について深めます。

*本プログラムは、昭和大学発達障害医療研究所で開発された発達障害の方向けの専門プログラム「大人の自閉症スペクトラムのためのコミュニケーション・トレーニング・マニュアル」に沿って進めております。

詳細は
HPへ

復職支援プログラム

うつ病・うつ状態などのために会社を休職中もしくは病休中で、今後職場復帰を目指している方を対象に、職場復帰援助プログラムを実施しております。

プログラムの目的

- ①生活リズムの改善
 - ②仕事に必要とされる基礎能力の改善
 - ③より円滑な対人交流の習得
- 併せて再発予防の心理教育的アプローチも行います。

	月	火	水	木
午前9:30~	パソコン	軽スポーツ 集団認知行動療法	グループ	パソコン

集団認知行動療法

- ①職場復帰のための集団認知行動療法・アサーショントレーニング
- ②就労継続のための集団認知行動療法・アサーショントレーニング

《発達障害専門プログラム・
復職支援プログラムに関するお問い合わせ》

精神科外来 TEL：03-3448-6321

〔受付時間：平日 8:30~17:00〕





お近くの診療施設に通院されていて、短期集中的に教育・治療効果をあげたいという患者さんには、9泊10日の入院での教育プログラム（集団教室）をご利用いただけます。

当院での教育終了後は、かかりつけの先生のもとで外来通院を継続していただけます。

《教育入院プログラム表》 ●...オリエンテーション / ●...DVD学習 / ●...講義 / ●...記述(クイズ)

	午前	午後			午前	午後
1日目 (月)		14:00-14:30	14:30-15:30	6日目 (土)	10:00-10:30	14:00-14:30
2日目 (火)	10:30-11:00	14:00-15:00		7日目 (日)	10:00-10:30	14:00-14:30
3日目 (水)		14:00-15:00	15:15-16:15	8日目 (月)		15:00-16:00
4日目 (木)	10:10-11:00	13:30-14:00		9日目 (火)	10:00-11:00	14:00-15:00
5日目 (金)	11:15-12:00			10日目 (水)		

※その他、個別栄養指導・薬剤指導あり

リハビリテーションと退院支援

当院では、早いケースで入院当日からリハビリテーションの介入を始め、社会復帰・自宅退院を目指します。基本的にご自宅への退院を目指しますが、後遺症の程度や生活背景によっては、リハビリテーションをより集中して行う回復期リハビリテーション病院と連携しております。

東京城南脳卒中ネットワーク

詳細はHPへ



- 運用開始 : 2016年7月
- 連携医療機関: 蒲田リハビリテーション病院 (大田区)
五反田リハビリテーション病院 (品川区)
原宿リハビリテーション病院 (渋谷区)
初台リハビリテーション病院 (渋谷区)
品川リハビリテーション病院 (品川区)
桜十字白金リハビリテーション病院 (港区)
- 実績 : 85件 (2023年度)

東京城南整形外科ネットワーク

- 運用開始 : 2019年9月
- 連携医療機関: 蒲田リハビリテーション病院 (大田区)
五反田リハビリテーション病院 (品川区)
原宿リハビリテーション病院 (渋谷区)
品川リハビリテーション病院 (品川区)
- 実績 : 21件 (2023年度)



詳細は
HPへ



セミオープンシステム

セミオープンシステム（他院での妊婦健診）を希望の方は紹介状をご持参の上、妊娠33週（33週6日）までに一度当院を受診してください。34週以降の妊婦健診は、当院で受けていただくことになります。

入院について

■ LDR（Labor Delivery Recovery）

LDR室を3室完備。陣痛開始から出産まで同じ部屋でお過ごしいただけます。

■ 入院中のお部屋

差額室料なしの4床部屋、2床部屋、個室、特別個室までご用意がございます。
4床部屋にもシャワーやトイレがあり、Wi-Fi環境も整備しております。

◇個室だと...

手ぶらで入院できるようパジャマ、タオル類、ルームシューズや特別個室用アメニティなどをご用意しています。室内では、無料Wi-Fiや備え付けタブレット端末でdマガジンのご利用が可能です。40分程の顔〜デコルテマッサージのサービスもございます。

◇差額室料 ※妊娠中および出産後の方は非課税

特別個室	50,000円/日（非課税）
個室	25,000円/日（非課税）
2床部屋	10,000円/日（非課税）
4床部屋	差額料金なし



4床部屋をご利用の方は、
有料にて手ぶら入院セット
をご利用いただけます



プレイルームも！



■ 母子同室について

産後1日目より母児同室が可能となります。
同室時間内でも、ご希望があれば新生児室で赤ちゃんをお預かりいたします。

■ お祝膳・おやつ

出産後に、お祝い膳や選べるスイーツのサービスがあります。

Yummy



◇ 2,500円 / 事前予約制

仕事で病院に足を運ぶ時間がない方や、体調が優れない方、悪天候や感染症が流行する時期でも、ご自宅で安心してご参加いただけます。



産後ケア

産後も様々なサポートによりお母さまと赤ちゃん、ご家族が安心して過ごしていただける体制を整えております。

■ 産後ゆったり入院

◇ 延泊数によって料金が異なります

「もう少し産後の体の疲れをとってから元気に退院したい」「助産師さんにもっと色々聞いて少しでも不安を取り除いて退院したい」など、ご希望の場合は1~2泊の延泊をしていただくことが出来ます。

■ にっこりフォロー

◇ 30分：5,000円 / 事前予約制（入院中に病棟にてご予約ください）

産後2週間頃に行っている育児相談です。育児の不安や疑問などを助産師に個別でご相談いただけます。産科外来来院、または自宅にて電話・オンラインのいずれかを選べます。

■ オンライン調乳指導

◇ 15分程度：無料 / 事前予約制・先着順

産後入院中、栄養士さんと産後の母乳やミルクの相談ができるサービスです。

■ 助産ケア

◇ 30分：5,000円・60分：10,000円 / 事前予約制

妊娠中~産後の生活や健康についてのお困りごとや、乳腺炎や卒乳の相談を助産師にしたい場合にご利用いただけます。

■ ママと赤ちゃんの産後デイケアサービス

◇ 7:45~17:00（延長：最長20:00まで） / 内容によって料金が異なります / 事前予約制

産後3か月（要相談）までのママと赤ちゃんが対象です。赤ちゃんを預けてのんびり休みたい、美容室に行きたい、育児に自信をつけたいなど、ママのご希望に合うプランを選べます。

院内保育所託児サービス

当院にてご出産された方限定で「関東病院 院内保育所『DAI★KIDS 五反田』託児サービス」がご利用いただけます。ご出産後の育児疲れをリフレッシュできるようにお手伝いするほか、新たな気持ちで育児に取り組めるよう、ご支援させていただくサービスです。



■ 院内保育所のご案内

- ◇ ご利用可能日時：平日（月曜日~金曜日） / 7:30~18:30のうち最大6時間まで
- ◇ 保育対象：当院にてご出産されたお子さま および 未就学児の兄弟姉妹
（ご出産から3年間、お子さま一人あたり年4回（計12回）までご利用可能）
- ◇ 保育料：保育児1人 1,000円（税込） / 1時間

■ ご利用の相談

『DAI★KIDS 五反田』へご連絡ください。

TEL：03-3448-7018〔受付時間：平日 9時~16時〕



開放病棟50床の病棟です。治療のための入院、アセスメント（診断や治療方針の見直し）のための入院、休息入院、生活リズム立て直しのための入院などを行っております。

当病棟では、医師・看護師・公認心理師・精神保健福祉士・病棟薬剤師が在籍しており、多職種で共同して入院患者さんの治療にあたっております。作業療法や卓球、ストレッチなどの運動プログラムや、心理教室や回想法など、さまざまなプログラムを行っております。また、心理検査や心理カウンセリング、病状に応じて退院後の社会資源の調整も行っております。

※ 入院期間は最大3か月。長期の療養が必要な場合は、転院先や入所する施設をお探しいたします。
※ 2023年4月より、修正型電気けいれん療法を再開しました。

入院ご依頼の流れ

- ① 「かかりつけ医療機関」から【03-3448-6192（医療連携室）】にご連絡ください。精神神経科・心療内科外来におつなぎいたします。
- ② 紹介状を【03-3448-6270（精神神経科・心療内科外来宛）】にFAXしてください。
- ③ 内容を確認後、受け入れ可否について数日以内にお電話でご連絡いたします。
- ④ 当院より患者さんに、当日の持ち物などについてのご案内のお電話をいたします。



患者さん向けのパンフレット

ご入用でしたら
医療連携室 (03-3448-6192)
までご連絡ください



▲ 個室 ▲



▼ 4床部屋 ▼



▲ 中庭 ▲

入院費後払いサービス

※2024年春 スタート！



入院申し込みの際に、専用端末で
クレジットカード情報を登録



退院時に会計を待たずにお帰りいただけます



現代の医学のレベルでは治療が困難とされたがん患者さんの、身体や心のつらさを和らげる治療やケアをおこなう専門病棟です。苦痛を和らげるための薬の調整や、看護ケアをはじめとし、総合病院の特徴を活かして、放射線治療や神経ブロック、リハビリテーションなども取り入れています。

入院の基準

＜以下の基準をご理解・同意の上、お申し込みください＞

- 患者さん自身が病状を理解し、今後はがんを治すための治療を行わずに、緩和ケア病棟でがんによる苦痛の緩和を行うことを希望していること
- 心肺蘇生処置（心臓マッサージや人工呼吸器装着など）や延命処置（昇圧剤の使用など）を希望していないこと
- 入院後、つらさが和らぎ病状が安定している場合は、療養場所（自宅退院や転院など）を相談させていただくこと
- 長期療養のみを目的とした入院には対応していないこと

申込方法

HPの「(4) 緩和ケア病棟への申し込みについて」を必ずご一読いただき、必要書類がすべてそろいましたら、ご本人・ご家族・医療機関等から申し込みの事前連絡をしたうえで郵送をお願いいたします。

書類が届きましたら、登録審査を行い、紹介元医療機関に結果をご報告させていただきます。

すぐに入院が必要な場合は、病床が準備でき次第、紹介元医療機関にご連絡いたします。

すぐに入院する必要のない方は、入院が必要な時に紹介元医療機関を通じてご連絡をいただいています。

《事前申し込み受付》

がん相談支援センター TEL：03-3448-6280 [受付時間：平日 9:00~17:00]

《書類送付先》

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22 NTT東日本 関東病院 緩和ケア病棟 宛

※ 封筒の表に「緩和ケア病棟申し込み」と記載してください。

※ 書留やレターパックなど、追跡可能な送付手段の利用をお勧めいたします。

レディース病棟

患者さんのプライバシーに配慮したきめ細やかな看護を提供するとともに、女性疾患に関する専門性を有した看護スタッフを配置し、女性がより安心して療養できる環境をご提供いたします。

主な診療科

- 婦人科
- 乳腺外科
- 外科
- 消化管内科

病床数：44床（個室:16床 / 2床部屋: 2床 / 4床部屋:24床 / HCU:2床）

特徴

- プライバシーが確保された、ゆったりとした個室
- 夜景がきれいに見える2床室
- すべての部屋にトイレとシャワー室完備
- 明るい照明や、静音性とデザイン性を兼ね備えたカーペット廊下



		病室区分	税込室料 (1日あたり) (税込)	テレビ	パジャマ タオル オムツ レンタル	コンシェルジュ	アメニティ
特別個室	S1		132,000円	○	○	○	○
	S2		110,000円	○	○	○	○
	S3		88,000円	○	○	○	○
	S5		63,800円	○	○	○	○
	S6		52,800円	○	○	○	○
	S7		41,800円	○	○	○	○
一般個室		A2	27,500円	○	○	×	×
2床部屋		B1	14,850円	○	○	×	×
		B2	11,000円	○	○	×	×
4床部屋		-	-	有料	有料	×	×
産科病棟 ※妊娠中および 出産後の方は 非課税	個室	A1	50,000円 (非課税)	○	○	×	○
		A2	25,000円 (非課税)	○	○	×	○
	2床部屋	B2	10,000円 (非課税)	○	○	×	×
精神科病棟		A3	22,000円	○	○	×	×
		C1	5,500円	○	○	×	×
緩和ケア病棟		A2	27,500円	○	○	×	×
		A3	22,000円	○	○	×	×

- ○は無料でご利用いただけます。
- Wi-Fiと冷蔵庫は、すべてのお部屋で無料でご利用いただけます。
- 有料病床は、入室された時間に関わらず1日(0:00~24:00)あたりの料金となります。
- アメニティはシャンプー、コンディショナー、ボディソープ、歯ブラシ、コップ、ヘアブラシ、履物などをご用意しております。
- 個室を希望される方は、治療上必要な場合を除き **申し込み順**となります。事前に入退院受付へお伝えください。ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



コンシェルジュのご紹介

特別個室では、専属のコンシェルジュが入院生活におけるお手伝いをいたします。看護・医療以外でも入院生活でのお困りごとやご要望がございましたら、コンシェルジュにお声掛けください。

<主なサービス内容>

- ・ 入退院時の荷物運搬のお手伝い
 - ・ 宅配便、郵便物発送のお手伝い
 - ・ 新聞手配 および 配達
 - ・ dマガジンの手配
 - ・ 理容室予約代行
 - ・ 私物クリーニングの申し込み代行
 - ・ 部屋会計の手配
 - ・ 面会者様の案内
- ほか



- 対応時間：平日 11:00~16:00

医療者の“気づき”を支援する『早期警戒システム』の運用を、全入院病棟で開始しました。

1 早期警戒システムとは

入院中の患者さんの急変する可能性を早期に検知し、医療者へ適切な対応を行うための“気づき”を支援するシステムです。

急変する可能性＝容態急変のリスクは、National Early WarningScore (NEWS) を用いて評価します。評価する項目には呼吸数、体温、血圧、脈拍数などがありますが、当院の早期警戒システムではこれらの数値を看護師の記録だけでなく、心電図モニターやその他の機器から直接収集し集計することができます。リスク評価は、NEWSの合計点が7点以上であれば高リスク、5から6点、もしくは項目の評価に1つでも3点以上があれば中リスク、0点から4点であれば低リスクに分類されます。

病棟	病室	患者ID	患者氏名	性別	年齢	入院日	入室日	病棟	NEWSスコア	リスク	呼吸数	SpO2	体温	脈拍数	収縮期血圧	意識状態	酸素投与	評価更新日時	
10A	AA03	1	内	99999901	男	65y	2023/01/02	病棟	7	高リスク	81	31	37.0	89	96	有	A	2h	2023/1/6 13:34
10A	AA14	1	橋内	99999908	男	28y		病棟	7	高リスク	84	26	36.7	121	92	有	A	2h	2023/1/6 15:15
10A	AA10	1	溝内	99999906	女	44y	2022/12/30	病棟	7	高リスク	127	20	37.1	127	91	有	A	2h	2023/1/6 16:08
10A	AA07	1	脳神内	99999902	女	82y	2023/01/04	病棟	6	中リスク	112	42	37.1	154	95	無	A	2h	2023/1/6 11:21
10A	AA02	1	特選内	99999905	女	36y	2022/12/28	病棟	6	中リスク	74	21	36.8	98	96	有	A	2h	2023/1/6 9:39
10A	AA05	1	内分泌	99999907	男	58y		病棟	6	中リスク	78	18	36.2	90	95	有	A	2h	2023/1/4 7:39
10A	AA08	1	血液内	99999903	-	32y	2022/12/28	病棟	5	中リスク	82	20	37.3	94	94	有	A	2h	2023/1/6 9:46
10A	AA26	2	心臓	99999909	男	71y	2022/12/31	病棟	4	中リスク	59	95	36.4	90	95	無	A	3h	2023/1/6 14:48
10A	AA12	1	総合診	99999911	男	49y		病棟	2	低リスク	104	97	38.5	121	97	無	A	8h	2023/1/6 10:34
10A	AA26	1	精神	99999916	女	21y	2022/12/06	病棟	1	低リスク	121	98	36.5	121	98	有	A	8h	2023/1/6 10:53
10A	AA18	1	診療	99999914	男	63y	2022/12/14	病棟	1	低リスク	1	0		1	0	0			

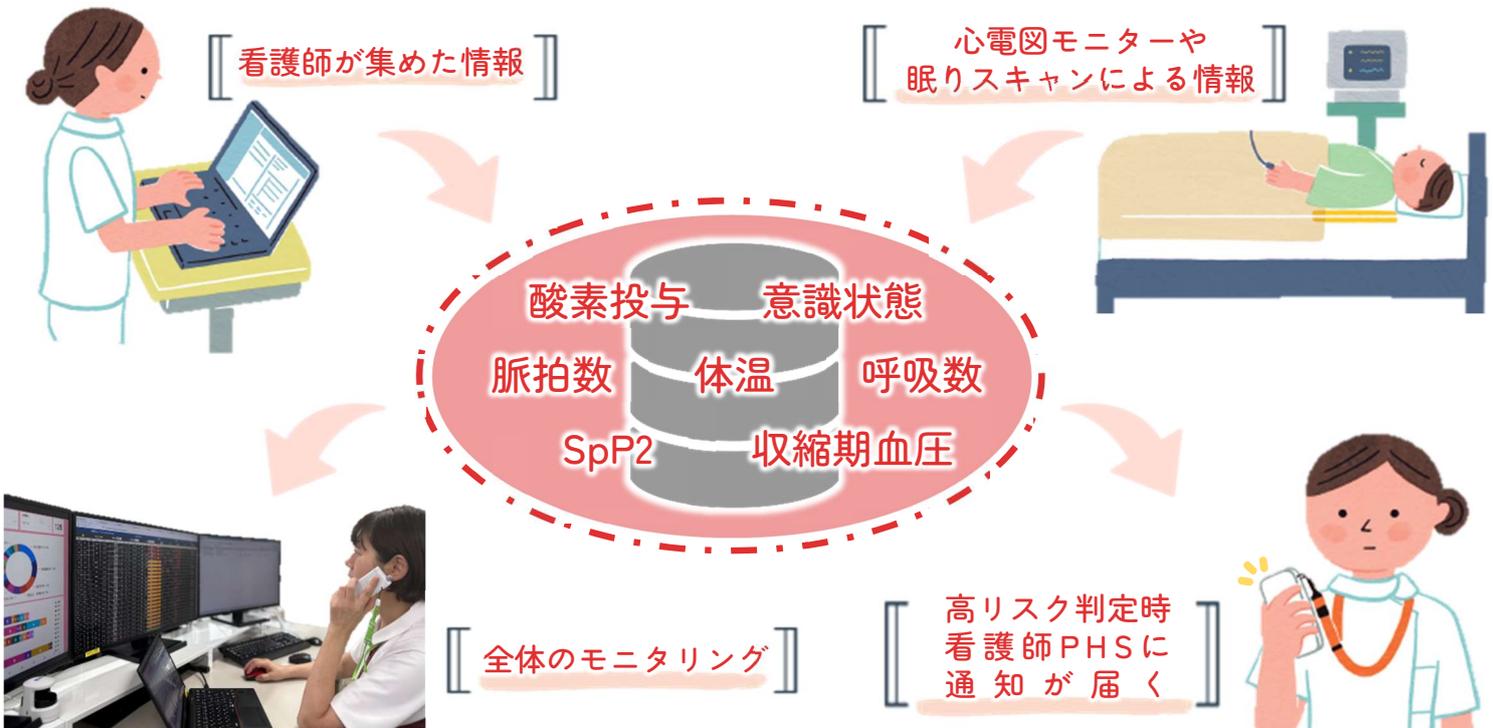
リスク評価

National Early WarningScore (NEWS)

- 高リスク** ... 合計：7点以上
- 中リスク** ... 合計：5～6点
もしくは3点以上の項目が1つ以上ある
- 低リスク** ... 合計：0点～4点

2 運用方法

高リスクと評価された場合には、担当看護師が持つPHSにその情報が自動で通知されます。また、ベッドコントロールを行っている看護師がすべての患者さんの評価をモニタリングしており、高リスクと評価された場合は病棟の看護師へ連絡し、容態の再確認やハイケアユニットや集中治療室への移動を検討するよう指示を出します。



消化管内科

部長
大圃 研

■ 概要

消化器疾患全般に対する内視鏡検査・治療を行っています。食道、胃、十二指腸、大腸の早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の症例数は国内トップクラスです。十二指腸がんに対するESDは、関東圏だけでなく全国から多くの患者さんにお越しいただいています。他にも、小腸のカプセル・ダブルバルーン内視鏡検査も行っています。

■ 対象となる疾患

早期がん（胃がん、食道がん、十二指腸がん、大腸がん）、胃ポリープ、大腸ポリープ、粘膜下腫瘍、消化管出血（胃・十二指腸潰瘍、胃食道静脈瘤、大腸憩室出血など）

《予約時の注意点》

大圃医師の初診外来の予約は、お取りしておりません。月曜午前に大圃宛の紹介状をお持ちいただければ、お待たせすることはありますが、必ず当日診察いたします。

肝胆膵内科

部長
寺谷 卓馬

■ 概要

肝グループは3名で構成され、主に肝がん（原発・転移）に対するラジオ波焼灼療法やマイクロ波焼灼療法を実施しています。肝嚢胞、肝炎、NASHなど肝疾患全般の診断・治療も行っています。

胆膵グループは4名で構成され、診断・治療・化学療法に至るまで一貫して行い、レベルの高いチーム医療を実現しております。積極的に学会活動、臨床研究、論文公開を行い、他施設との交流からさらなるレベルアップを図っています。

■ 特徴

- ① 転移性肝がんを含めた経皮的焼灼療法
- ② EUS-FNAを用いた迅速な診断
- ③ 緊急を要する胆のう炎や胆管炎治療

■ 対象となる疾患

肝臓がん（原発性肝がん、転移性肝がん）、肝腫瘍、肝嚢胞、ウイルス性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）、胆石症、急性胆嚢炎、胆嚢ポリープ、総胆管結石、胆管がん、胆嚢がん、十二指腸乳頭部がん、急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵嚢胞、膵がん、神経内分泌腫瘍

《予約時の注意点》

初診日以外でも御連絡いただければ、対応するようにいたします。

循環器内科

部長
安東 治郎

■ 概要

狭心症、心筋梗塞、弁膜症、不整脈、下肢動静脈疾患など循環器疾患全般に対する診療を行っています。「24時間循環器救急診療」を実践し、夜間・休日を含めた24時間365日、循環器疾患の患者さんを受け入れる体制が整っています（東京都CCUネットワーク加盟施設）。

急性心筋梗塞などに対する緊急カテーテル治療も可能で、心臓血管外科との緊密な連携のもと緊急手術にも対応しています。

■ 特徴

- ① 循環器疾患全般の受け入れ
- ② 24時間365日循環器救急疾患の受け入れ
- ③ 心臓血管外科との連携

■ 対象となる疾患

狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈、解離性大動脈瘤、末梢動脈疾患（下肢閉塞性動脈硬化症）、静脈血栓症など

《予約時の注意点》

狭心症、不整脈、末梢血管の初診外来日は、外来担当医表にてご確認ください。

心臓血管外科

部長
華山 直二

■ 概要

当科の特徴は、すでに手術療法の適応があると判断された患者さんが受診されることが多いということです。つまり、患者さん、そしてそのご家族はもちろんのこと、診断してくださった内科の先生方も私共のクライアントであります。私共は、すべての方が納得の上治療を受けていただくことを考え、治療を進めてまいります。

■ 対象となる疾患

- 心臓弁膜症（大動脈弁、僧帽弁、三尖弁の疾患）
- 冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞など）
- 大動脈疾患（大動脈瘤、大動脈解離）
- 末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、動脈血栓症）

糖尿病・内分泌内科

部長
林 道夫

■ 概要

糖尿病学会専門医・指導医、内分泌代謝科専門医・指導医、甲状腺学会専門医、日本糖尿病療養指導士資格を持つ看護師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士を擁し、日本糖尿病学会認定教育施設・日本内分泌学会認定教育施設として認定されています。高度急性期病院である当院の特性に応えるべく、各診療科との院内連携も密接に行っております。

■ 対象となる疾患

- 糖尿病
- 甲状腺
- 脂質異常症
- 内分泌疾患全般

《予約時の注意点》

かかりつけ医の先生からの紹介状を必ずご準備ください。

高血圧・腎臓内科

部長
渋谷 祐子

■ 概要

急性腎障害、慢性腎臓病、体液・電解質バランス、血液浄化療法全般、高血圧診療を行っています。腎臓とは、全身状態を反映する臓器で様々な病気と関連しているため、各科と連携して治療にあたることも多くあります。たとえば、重症患者さんの集中治療室における管理（Critical Care Nephrology）やがん治療における急性腎障害あるいは腎障害患者のがん治療（Onco-Nephrology）などにも関わっています。このように当科は、救急医療、がん診療、予防医学のすべてにも関わっております。

■ 特徴

慢性腎臓病診療連携（K/SMOOTH）について、積極的にかかりつけの先生と病診連携を行っています。

〔内容〕

慢性腎臓病についての説明、慢性腎臓病の原因検索、慢性腎臓病合併症検索、治療など

■ 対象となる疾患

急性腎障害、慢性腎臓病、腎臓代替療法（透析などの血液浄化療法）、原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎候群、ネフローゼ症候群）、全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎臓病、膠原病、高血圧など）、高血圧症（本態性、二次性高血圧症）、体液・電解質異常

《予約時の注意点》

かかりつけの先生からの紹介状持参と、待ち時間短縮のため、前もっての受診予約をお願いいたします。

呼吸器内科

部長
白井 一裕

■ 概要

感染性肺結核を除く、ほぼすべての呼吸器疾患の診療を行っています。外来では、気管支喘息・COPD（慢性閉塞性肺疾患）・肺がん・間質性肺炎・肺非結核性抗酸菌症・肺真菌症、入院では、肺がん・肺炎・間質性肺炎などの診療を行っています。呼吸器疾患に関連した検査としては、CT検査、MRI検査、気管支鏡検査、超音波ガイド下針生検、CTガイド下生検針生検（放射線科）、精密肺機能検査、呼気NO検査、呼吸抵抗検査（モストグラフ）などを行っています。当院の呼吸器内科は、ひとつの専門分野のみに特化するのではなく、呼吸器疾患全般に対して、幅広く標準的な診断・治療を行っています。

■ 対象となる疾患

肺がん、間質性肺炎、気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、肺炎・肺非結核性抗酸菌症・肺真菌症などの呼吸器感染症

呼吸器外科

部長
松本 順

■ 概要

原発性肺がんや縦隔腫瘍などの手術治療を中心として診療を行っています。呼吸器内科と連携して集学的な治療を積極的に行っています。自然気胸、膿胸といった緊急で処置や手術が必要な患者さんの対応も行っています。昨今、高齢化に伴い併存症を有する肺がん患者さんも増加していて、胸腔鏡やロボット支援手術などの低侵襲手術を積極的に行うことで術後QOLの維持を図っています。

■ 特徴

- ① ロボット支援手術による精度の高い手術の実践、高難易度縦隔腫瘍に対する応用、手術の選択肢の提供
- ② 早期肺がんに対する気管支鏡下マーキングを用いた積極的肺部分切除
- ③ 術後早期リハビリテーションの導入による術後合併症に対する対策

■ 対象となる疾患

原発性肺がん、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、気胸、膿胸などの外科的治療を要する胸部疾患 および 縦隔リンパ節腫脹、胸膜腫瘍、びまん性肺疾患などで外科的生検が必要な疾患

《予約時の注意点》

新患外来は水曜日の午後に行っています。月曜日、木曜日にも全日外来を行っていますので、初診紹介は可能です。

脳血管内科

部長
大久保 誠二

■ 概要

死亡原因、要介護原因として上位である脳卒中の診断、内科的治療、予防を行います。特に超急性期脳梗塞に対し、血行再建治療（血栓溶解療法、機械的血栓回収療法）を積極的にを行います。脳神経外科と連携して、24時間365日体制で脳卒中ホットラインを運営し、断らないことが目標です。脳卒中の発症再発のリスク評価、予防も行い、非侵襲的な頸動脈ステント留置術や脳動脈瘤コイル塞栓術も施行します。

■ 特徴

- ① 一次脳卒中センター（PSC）コア施設として24時間365日体制でチーム医療
- ② 超急性期脳梗塞に対する迅速な血行再建治療
- ③ 脳血管内治療（頸動脈ステント、動脈瘤コイル塞栓など）

■ 対象となる疾患

- 脳卒中（脳梗塞・脳出血）、一過性脳虚血発作
- 神経救急疾患
- 脳・頸動脈狭窄
- 脳動脈瘤

脳神経内科

部長
大久保 誠二

■ 概要

脳神経内科とは、脳・脊髄、末梢神経、筋肉など、人間の活動を支える広範なシステムの病気を扱う診療科です。この中には髄膜炎・脳炎といった感染症や、てんかん・頭痛など発作症状を繰り返すもの、各種認知症や緩徐に進行する神経難病、免疫の異常による神経障害など多くの病気が含まれます。丁寧な診察と多くの診断機器を駆使することで病気を診断し治療方針を決めるのが特徴です。

■ 特徴

- ① 診断の難しい神経難病を、正しく診断し治療を行います。
- ② 進歩の著しい新規治療薬を積極的に活用します。
- ③ 多職種がかかわる在宅での地域医療推進につなげます。

■ 対象となる疾患

神経難病（パーキンソン病、萎縮性側索硬化症など）、アルツハイマー型・レビー小体型などの認知症、多発性硬化症、末梢神経疾患（ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性ポリニューロパチーなど）、髄膜炎・脳炎、頭痛、てんかん、筋炎、重症筋無力症など。

《予約時の注意点》

各種認知症の精査ご希望の場合には、ご家族ないし介護者が付き添える日時の予約をお願いいたします。

脳神経外科

部長
井上 智弘

■ 概要

ガンマナイフセンター・脳血管内科・脳神経内科と連携し脳神経疾患の診療にあたっています。迅速かつ的確な診療を要する脳卒中などの神経救急から、高度な治療技術を要する未破裂脳動脈瘤、脳血管バイパス、脳腫瘍を専門に治療します。特に、難度の高い未破裂脳動脈瘤や脳腫瘍など、手術症例が近年増加傾向です。（2023年手術総数：441件）

■ 対象となる疾患

脳動脈瘤開頭クリッピング術、脳血管バイパス手術、頸部内頸動脈血栓内膜剥離術、開頭脳腫瘍摘出術、広範囲頭蓋底再建脳腫瘍摘出術、微小神経血管減圧術、開頭脳内血種除去術

ガンマナイフセンター

センター長
赤羽 敦也

■ 概要

定位放射線治療装置である「ガンマナイフ」による頭蓋内疾患の治療を行っています。ガンマナイフ治療は低侵襲で体力的な負担が少なく、照射誤差0.3mm以下という高い精度での治療が可能です。のべ7,000例を超える豊富な治療経験に基づいて、患者さんおひとりおひとりに最善の治療方法をご提案しています。

■ 特徴

- ① 最新機器による高精度な定位放射線治療
- ② 脳神経外科、リハビリテーション科と連携しQOLを重視した治療戦略
- ③ 症候性の場合には、すみやかに治療に着手

■ 対象となる疾患

良性/悪性原発性脳腫瘍（聴神経腫瘍、髄膜腫、神経膠腫など）、転移性脳腫瘍、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、三叉神経痛（いずれも健康保険が適用されます）

《予約時の注意点》

特に症候性の場合には早急に対応させていただきますので、いつでもご一報ください。

整形外科

部長
山田 高嗣



■ 概要

骨・関節軟骨・椎間板・筋肉・靭帯・神経系などの組織から成る全身の運動器の障害に対して、治療を行っています。ほぼ全ての分野のエキスパートが揃っており、「手外科」「脊椎・脊髄病センター」「人工関節センター」の3つのチームに分かれ、高い専門性を持ちながら診療にあたっています。また、チーム間で密接な連携を取ることで、複数の運動器疾患を抱えていることの多い高齢の患者さんに対しても最適な治療選択を行うことが可能になっています。

■ 特徴

- ① ほぼ全ての分野のエキスパートが揃い、密な連携を取っている
- ② 脊柱変形矯正手術などの大きな手術から内視鏡による低侵襲手術まで、全ての脊椎脊髄疾患に対する治療が可能
- ③ 最新のロボットが導入され、正確無比な人工関節手術が可能

■ 対象となる疾患

- 手外科全般（腱の異常、加齢による関節の変性、骨折の変形治療、末梢神経疾患など）
- 脊椎脊髄疾患全般（頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症・靭帯骨化症・腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症・脊柱変形・脊椎の外傷・感染・腫瘍など）
- 変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、変形性膝関節症、広範囲肩腱板損傷

《予約時の注意点》

紹介状と画像のコピーを持参いただければ幸いです。

スポーツ整形外科

部長
武田 秀樹



■ 概要

スポーツに伴って発症する障害・外傷を主に扱っています。これらの疾患に対し適切な診断・治療を行うためには、専門的な知識や経験が欠かせません。レクリエーションレベルからプロスポーツレベルまで、スポーツに関する障害・外傷を対象としております。手術のみならず、アスリートリハビリテーションもリハビリテーション科と連携し行っております。

■ 特徴

- ① スポーツ外傷・障害に特化した診療科である
- ② 手術治療がメインだが、アスリートリハビリにも対応

■ 対象となる疾患

スポーツ外傷で頻度の高い膝前十字靭帯などの各種靭帯損傷、膝半月損傷、離断性骨軟骨炎・軟骨損傷（膝・肘など）、肩関節脱臼、肩腱板損傷など

《予約時の注意点》

前もってMRIなどの検査を行ってから紹介いただくとありがたいです。

ペインクリニック科

部長
安部 洋一郎



■ 概要

当科は、痛みの治療に特化した科として1976年より当院の前身の関東通信病院時代から存在しています。主に神経ブロックを診断、治療の核としておりますが、近年、痛みの経路全体の俯瞰しつつ治療戦略を立てることが多くなっております。痛みは生活習慣病の側面もあるため患者さんに痛みの原因を理解して頂くと同時に、治療に参加することの重要性もお話いたします。急性期の痛みと慢性期の痛みに対し、治療のゴールを明確にして治療方針を立てております。

■ 特徴

- ① 最新の医療機器を用いた正確な神経ブロック
- ② 高齢者にやさしい、低侵襲手術
- ③ 神経ブロックを用いて内服薬の減量を目指しております
- ④ 痛み以外の自律神経系の改善治療

■ 対象となる疾患

椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、带状疱疹の急性期、慢性期の痛み、三叉神経痛などの全身のいたみのほか、顔面神経麻痺や多汗症、自律神経由来の諸症状など

《予約時の注意点》

電話予約のほか、当院HPからも予約が取れますが、疾患によっては待ち時間が長くなってしまいう場合がございます。今まで受診された病院からの紹介状が重要な情報になりますので、できる限り紹介状をお持ちください。

リハビリテーション科

部長
福田 明



■ 概要

固有の入院ベッドは持たず、脳卒中センター、ICU、CCUを含めた超急性期から、各診療科と連携して診療にあたっています。スタッフは常勤医1名、セラピスト総勢40名あまりです。急性期病院という病院の機能上、治療期間はリハビリテーションも含めて限られていますので、各科医師、病棟看護師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、薬剤師などとの多職種連携に力を入れて患者さんの早期退院、社会復帰を目指しています。

■ 特徴

- ① スポーツ整形・リハビリの十分な経験、充実した機器
- ② 心臓リハビリテーションの十分な経験と充実した機器
- ③ がん患者さんへのすべての病期における積極的な介入

■ 対象となる疾患

脳血管疾患、肺炎や外科手術後の廃用症候群、整形外科・スポーツ整形外科の運動器疾患、がん、循環器、呼吸器などすべての疾患別リハビリテーションを行っております。

《予約時の注意点》

ご紹介いただく際は、事前にご連絡いただければ幸いです。

腫瘍内科

部長
倉持 英和

■ 概要

悪性腫瘍の診断を受け、「抗がん薬治療」を主体とした治療を検討している患者さんを対象に診療を行っています。具体的には、胃がん、大腸がんをはじめとした消化器がん、腎がん、前立腺がん、尿路上皮がん、胚細胞腫瘍などの泌尿器がんの患者さんを中心に、原発不明がん、悪性軟部腫瘍などその他の固形がんに対しても診療しています。また、当院での「がんゲノム検査」の窓口になっています。

■ 対象となる疾患

- 胃がん、大腸がんをはじめとした消化器がん
- 腎がん、前立腺がん、尿路上皮がん、胚細胞腫瘍などの泌尿器がん
- 原発不明がん、悪性軟部腫瘍などその他の固形がん
- *がんゲノム検査（保険診療）

血液内科

部長
市川 幹

■ 概要

急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍や、真性多血症、本態性血小板血症、原発性骨髄線維症などの骨髄増殖性腫瘍、再生不良性貧血、発作性夜間へモグロビン尿症、骨髄異形成症候群などの骨髄不全症候群に対する集学的治療を行なっています。

■ 特徴

治療が難しい血液疾患全般に向き合っており、特に指定難病や白血病については臨床研究グループに属して多くの臨床研究に参加し、診療科一丸となり高度な治療の実績を重ねています。さらに、標準治療に抵抗性となった難治性の造血器疾患患者さんのunmet medical needsを満たし、将来の医療の発展にも寄与する新薬開発の治験を多く行い、患者さんに還元できる治療の確立のために注力しています。

■ 対象となる疾患

- 造血器悪性腫瘍：急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫
- 骨髄増殖性腫瘍：真性多血症、本態性血小板血症、骨髄線維症
- 骨髄不全症候群：再生不良性貧血、発作性夜間へモグロビン尿症（PNH）、骨髄異形成症候群
- その他：特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血、寒冷凝集素病／鉄欠乏性貧血や悪性貧血の治療、特にPNHなどの希少疾患を多数例診療

《予約時の注意点》

木曜日午前中以外でお願いいたします。

外科

部長
佐藤 彰一

■ 概要

消化器悪性疾患に対する手術を中心に、胆嚢結石症やヘルニアなどの良性疾患に対する手術や、急性腹症に対する緊急手術まで行っています。がんに対しては、がんの根治性を担保しつつ、患者さんの体に優しい低侵襲手術（ロボット支援下手術、腹腔鏡下・胸腔鏡下・縦郭鏡下手術）を積極的に導入しています。高度進行がんに対しては超拡大手術まで行っています。

■ 特徴

- ① 専門性の追求と24時間の救急対応
- ② がんの根治性の追求と、可能な限りの低侵襲手術
- ③ 東京都医療連携手帳による逆紹介と腹痛ホットラインによる地域医療連携の充実

■ 対象となる疾患

食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、膵臓がん、胆道がん、胆石、腸閉塞、ヘルニア、肛門疾患、緊急手術を要する急性腹症（虫垂炎、上部または下部消化管穿孔、絞扼性腸閉塞、胆嚢炎など）

泌尿器科

部長
中村 真樹

■ 概要

腎腫瘍などの泌尿器科系悪性腫瘍、尿路結石などの尿路閉塞性疾患、過活動膀胱などの排尿機能関連疾患、膀胱炎などの尿路性器感染症、勃起障害などの男性生殖器疾患など、幅広い泌尿器科の疾患を扱っています。可能な限り臓器を温存し、また術後早期回復プログラムを導入して患者さんの早期回復を目指した治療を行っています。とくにロボット手術（前立腺がん、腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がん）と腹腔鏡手術に重点をおいています。

■ 特徴

- ① 低侵襲ロボット手術
- ② 術後早期回復プログラム
- ③ 腫瘍内科・緩和ケアチームとの連携
- ④ 前立腺センター

■ 対象となる疾患

腎細胞がん（腎がん）、腎盂・尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、副腎腫瘍、精巣腫瘍、陰茎がん、尿路結石、腎盂腎炎、膀胱炎、陰嚢水腫、前立腺肥大症、過活動膀胱、尿失禁、包茎

乳腺外科

部長
沢田 晃暢

■ 概要

2019年4月に乳腺外科を開設、2021年4月からは、ブレストセンターとして新たに場所も呼び名も変わり、再発となりしました。ブレストセンター内でマンモグラフィ検査とエコー検査が受けられることになり、患者さんの利便性が向上いたしました。

■ 特徴

- ① 検査のための移動が最小限となりました。
- ② 石灰化を指摘された場合も、検査できます。
- ③ 男性の乳腺疾患も診療しております。

■ 対象となる疾患

メインの対象疾患は乳がんです。女性乳がんに限らず、男性乳がんも同様に診察治療を行います。さらに、手術適応の良性疾患（繊維腺腫や葉状腫瘍など）も扱います。

形成外科

部長
伊藤 奈央

■ 概要

身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、患者さんの生活の質"Quality of Life"の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

■ 特徴

- ① 形成外科疾患全般に対して質の高い治療を提供することを目標としています。
- ② 乳房再建について、自家組織、人工物、脂肪注入などの自費診療も含めた多岐にわたる手術方法で治療しております。

■ 対象となる疾患

- 顔や手足などの瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕
- 皮膚や軟部組織の腫瘍（血管腫、血管奇形は扱っておりません）
- 眼瞼下垂、睫毛・眼瞼内反症
- 皮膚や軟部組織の腫瘍、がんの切除・再建
- 陥没乳頭
- 腋臭症手術
- 陥入爪手術 など

《予約時の注意点》

乳房再建ご希望の場合は、ブレストセンター内 乳房再建外来の予約をお願いいたします。

産婦人科

部長
塚崎 雄大

■ 概要

- ・ 婦人科領域では、地域がん診療連携拠点病院としての役割を担うべく、婦人科腫瘍専門医が外来診療を担当しており、低侵襲の治療を心がけております。
- ・ 産科領域では、オンラインでの両親学級や産後フォロー外来を行っております。また 特別個室をご用意し、安全で快適な環境のもとでお産していただくようにしています。

■ 特徴

- ・ 女性だけの入院施設である『レディース病棟』を開設しました。特に女性ならではのケアを行うことができるようになり、安心して入院していただけるようになりました。
- ・ 産科外来を全スタッフが助産師である産科専門病棟に併設し、入院時の緊張感を減らす工夫をしております。

■ 対象となる疾患

- ・ 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍
- ・ 子宮筋腫や卵巣嚢腫などの良性疾患に対する、ダヴィンチ手術や腹腔鏡下手術などの低侵襲手術

《予約時の注意点》

- ・ 待ち時間短縮の観点から、完全予約制としております。

小児科

部長
小林 朋佳

■ 概要

近年増加している子どものアレルギー疾患の治療や、不登校・神経発達症（発達障害）など、子どもの心と行動の問題に対するケアを中心に、お子さんを取り巻くさまざまな課題の解消に努めています。アレルギー、心理カウンセリング、てんかんなどの小児神経疾患、先天性の心臓病など、それぞれ の分野ごとに診療を行う体制も設けており、さまざまな子どもの病気を診られる体制を整えています。

■ 特徴

- ① 新生児・乳幼児期からの「切れ目のない健康管理」
- ② 子どもの体と心の複合的な問題に対するケア
- ③ ご家族に対する子育て支援や家族カウンセリング

■ 対象となる疾患

- 発熱・咳・倦怠感・頭痛などの症状を伴う小児急性疾患
- 食物アレルギーやアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患
- 小児循環器疾患 ・てんかんなどの小児神経疾患
- ことばや発達の遅れ、不登校や神経発達症（発達障害）など、子どもの心と行動の問題

《予約時の注意点》

完全予約制ですので、事前にご連絡ください。患者さんからのご連絡は小児科外来までお願いいたします。予約の受付時間は、平日8時半から16時半までとなります。

リウマチ膠原病科

部長
松下 匡史郎

■ 概要

関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどに代表される自己免疫性の多臓器疾患のほか、内科的な治療の対象となる筋骨格系疾患や結合組織疾患の診断治療を担当する診療科です。2019年9月に部長の津田が着任し開設され、4年目を迎えました。他科とも密接に連携を図りながら、生物学的製剤や分子標的薬による最新治療、新薬臨床試験などにも積極的に取り組んでいます。

■ 対象となる疾患

全身性エリテマトーデス・関節リウマチ・シェーグレン症候群・脊椎関節炎・炎症性筋疾患・全身性硬化症・混合性結合組織病・血管炎症候群・リウマチ性多発筋痛症・結晶性関節炎など

皮膚科

部長
出月 健夫

■ 概要

当科は5人の常勤医体制で、アトピー性皮膚炎や乾癬、薬疹といった炎症性疾患、蜂窩織炎や帯状疱疹といった一般的な入院を要する皮膚疾患のほか、皮膚腫瘍、下肢静脈瘤、皮膚潰瘍といった皮膚外科領域にも積極的に取り組んでいます。今後も病診連携に積極的に取り組み、地域の患者様に貢献できるよう、また患者様にやさしいよりよい医療を提供できるよう努力してまいります。

■ 特徴

アトピー性皮膚炎や乾癬といった炎症性皮膚疾患の重症例では、生物学的製剤、JAK阻害薬といった最新の治療を導入しています。下肢静脈瘤は専門外来（火・木）で検査から治療まで一貫して行っており、皮膚腫瘍の手術も積極的に行っています。

■ 対象となる疾患

すべての皮膚疾患に対応するように心掛けています。

《予約時の注意点》

午後は予約制になります。

耳鼻咽喉科・
頭頸部外科部長
中尾 一成

■ 概要

当科では、あらゆる耳鼻咽喉科疾患を対象として診療を行っておりますが、その中で特に力を入れているのが頭頸部腫瘍の診断と治療です。予防医学とも連携して早期診断と治療の低侵襲化を図り、可能な限り音声機能や嚥下機能を温存することを目指します。その一環として昨年からは経口的ロボット手術も導入しております。一方、進行がん症例に対しては再建手術や集学的治療を速やかに施行できる体制を整えています。地域の皆様にご満足いただけますようスタッフ一同、努力を重ねております。

■ 特徴

- ① 経口的咽喉頭腫瘍切除
- ② 進行がんに対する再建手術やCRT
- ③ 分子標的治療やがんゲノム診療など最先端の治療
- ④ 最新のナビゲーションシステムを用いた安全な副鼻腔手術

■ 対象となる疾患

- 頭頸部腫瘍（悪性／良性）
- 慢性副鼻腔炎などの鼻副鼻腔疾患
- 慢性中耳炎・突発性難聴など耳疾患
- 扁桃炎など咽頭疾患
- 声帯ポリープなど喉頭疾患
- 睡眠時無呼吸症候群・顔面神経麻痺など

《予約時の注意点》

午前中は月曜日から金曜日まで毎日、
午後は水曜日と金曜日に外来を行っております。

眼科

部長
小田 仁

■ 概要

近視や結膜炎などの一般的な疾患から、白内障手術、レーザー手術、硝子体手術などまで、さまざまな疾患の診療を扱っています。神経内科、脳外科、耳鼻科などの疾患と関連があるケースもあり、必要に応じてそれぞれの診療科と連携をとって診療にあたっています。

■ 対象となる疾患

- 屈折異常：近視、遠視、乱視、老視
- 外眼部疾患：結膜炎、霰粒腫、麦粒腫など
- ドライアイ、白内障、緑内障、ぶどう膜炎
- 網膜硝子体疾患：糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈分枝閉塞、黄斑上膜、黄斑円孔、網膜剥離 など

救急科

部長
濱田 裕久

■ 概要

2018年より独立した診療科として診療を開始しております。スタッフ数の関係から、平日8:30~17:00までは救急センターにて救急科専属医師2名が救急車による救急搬送患者を対応しております。受け入れ診療科が明確に決まっている患者さんにつきましては、各科の医師が直接救急搬送に対応しております。特に循環器疾患、脳卒中、急性腹症に関しては専門のホットラインがありますので、そちらをご利用ください。

■ 特徴

- ① 救急車で搬送を必要とする患者さんを、優先して受け入れております。
- ② 複数の診療科に渡る、あるいは診療科が確定できない病状の救急患者さんに対応しております。

■ 対象となる疾患

当院は二次救急医療機関であり、救急科では原因不明の発熱、意識障害、アナフィラキシーなどの救急車搬送が必要な中等症以上の患者さんのみを受け入れております。バイタルサインに異常がなく自力での受診が可能な患者さんは、各科の外来への紹介をお願いいたします。集中治療が必要な重症患者は病床の事情によりお受けできない場合がございますので、前もって医療連携室にご相談ください。当院は薬物中毒、広範囲熱傷、小児外傷、重症多発外傷、精神科救急には対応できかねるので、ご配慮をお願い申し上げます。

総合診療科

部長
松下 匡史郎

■ 概要

主に、専門科による治療を要しないが入院加療が必要な患者さんや、診療科が特定しにくい病態の患者さんの入院加療を行っております。また、救急科、国際診療科、感染症内科をはじめ、様々な診療科と連携しながら、地域連携を意識しながら入院から退院までのサポートを行ってまいります。

■ 対象となる疾患

一般内科疾患全般。現在は、救急システムを必要とする患者さんは救急科で対応していただいております。Walk-in可能な患者さんのみを外来（午前のみ予約制）で対応しております。早期に診る必要がある患者さんは紹介状持参の上、なるべく午前中の外来受診をお願いいたします。

国際診療科

部長
佐々江 龍一郎

■ 概要

- 「質の高い総合診療」：
様々なニーズに対応するために、海外での医療経験豊富な総合診療医が対応いたします。
- 「安心して受けられる英語診療」：
国際診療科医師は英語が堪能、外国人患者さんも安心して医療を受けられます。言語的に難しい患者さんも対応が可能です。
- 「英語での診療サポート」：
予約から検査結果の受け取りまで、英語での電話およびメール対応が可能です。

■ 特徴

- ① バイリンガル医師による英語診療で患者さんは安心
- ② 総合診療小児から大人まで幅広い疾患に対応
- ③ 入院中における英語診療支援

■ 対象となる疾患

- 他の診療科と協力しながら「何でも相談できる」科です。
- 一般内科疾患全般、外科・整形外科疾患、精神疾患、皮膚疾患など
 - 6歳以上の小児も対象

＜予約時の注意点＞

利便性向上のため、紹介時は外国人患者さんに紹介状をお渡しいただき患者さんから『nttihc-ml@east.ntt.co.jp』もしくは「03-6721-6239」に直接ご連絡いただければ対応可能です（全予約制）。

感染症内科

部長
櫻井 隆之

■ 概要

全科横断的にコンサルテーションを受けるスタイルの診療科です。抗菌薬など、院内で選択が難しい場合に相談を受けて各診療科にアドバイスをを行います。外来では、輸入感染症や特殊感染症、性感染症など、他の診療科では判断に迷う感染症を中心に診療を行っています。

■ 対象となる疾患

輸入感染症、特殊感染症、性感染症などを対象に診療をしています。また、院内で発生する感染症一般の相談を引き受けています。さらに、新型コロナウイルス感染症の入院診療を行っています。

精神神経科

部長
大路 友悳

■ 概要

入院診療（開放病棟50床）、外来診療で精神疾患に対する診断、治療、社会復帰の支援を行っております。当科では心理士、作業療法士、精神保健福祉士、薬剤師が在籍しており、多職種共同で治療を行っております。入院患者、外来患者さんを対象とした心理検査や、入院患者を対象としたカウンセリングも行っております。

また、休職中の方を対象としたリワークや、発達障害でお悩みの方を対象としたコミュニケーション入門プログラム（全8回）など、社会復帰への支援の為の外来プログラムを行っています。

■ 対象となる疾患

気分障害、統合失調症、認知症、不安症など

《予約時の注意点》

入院期間はおおむね3か月までの急性期病棟です。入院をご紹介いただく際は、事前にお電話でのご連絡と紹介状をFAXしていただくよう、お願いいたします。

心療内科

部長
大路 友悳

歯科口腔外科

部長
山城 正司

■ 概要

口腔外科疾患を中心に、専門性の高い診療を行っています。口腔がん治療は他科、多職種と連携して、再建手術や顎義歯など機能を重視した診療を行っています。また、院内患者さんの口腔機能の維持・管理に努めています。口から食べることを支援し、誤嚥性肺炎などの口腔合併症を減らせるように取り組んでいます。なお、う蝕、歯周病、義歯などの一般歯科治療は行っておりません。

■ 特徴

- ① 専門性の高い口腔外科診療
- ② 機能を重視した口腔がん治療
- ③ 周術期の口腔機能管理

■ 対象となる疾患

口腔腫瘍（口腔がん、良性腫瘍）、口腔粘膜疾患（難治性口内炎など）、顎骨嚢胞、歯性感染症（智歯周囲炎など）、顎骨骨髓炎、唾液腺疾患（唾石症など）、顎関節症、外傷（顎骨骨折、歯の脱臼）、口腔内科疾患、高難易度・有病者の抜歯手術

《予約時の注意点》

初診予約は月、火、木、金の午前中となっておりますが、緊急性の高い場合などは直接ご連絡ください。

緩和ケア科

部長
鈴木 正寛

■ 概要

がん（悪性腫瘍）によって生じる様々な苦痛（痛み・吐き気・息苦しさ・気持ちのつらさなど）を和らげ、患者さんがご本人らしく生きていただくための治療やケアを専門としています。

がん治療中は外来や一般病棟にて緩和ケアチームが主科と連携して、がん治療後は緩和ケア病棟にて緩和ケア医が主治医となり専門的な苦痛緩和を行っています。

■ 特徴

- ① ペインクリニックを専門とするスタッフが複数名在籍
- ② 在宅療養を専門とするスタッフがスムーズな自宅療養をサポート
- ③ リハビリ・緩和的放射線照射・心理サポートチームとの連携

■ 対象となる疾患

主としてがん（悪性腫瘍）によって生じる苦痛の緩和を行っています。緩和ケアチームはがん以外の疾患の苦痛緩和にも対応しています。

《予約時の注意点》

2021年4月より感染症防止対策強化の一環として、対面式の初診外来に代わり、必要書類送付による入院登録審査を開始し、より迅速な入院支援を目指しています。詳しくは緩和ケア病棟ホームページをご覧ください。

麻酔科

部長
小松 孝美

■ 概要

当科は手術室麻酔管理を主に行っています。麻酔は大きく分けて、全身麻酔と区域麻酔に分かれます。区域麻酔は硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、末梢神経ブロックがあります。全身麻酔に区域麻酔を組み合わせる麻酔もあります。手術室以外では麻酔科術前外来、術後の疼痛管理、周術期管理を行っています。外科系各科のみならず、内科系各科とも連携を取り、周術期の循環管理、呼吸管理を行っています。手術室だけではなく、集中治療室はじめ重症系ユニット、病棟でも活躍しています。

■ 対象となる疾患

手術の対象となる疾患の全てが対象となります。さらに患者さんが抱えている合併症も麻酔科医の取り扱う対象疾患となります。具体的には高血圧・不整脈・狭心症・心臓弁膜症などの循環器系疾患、喘息、肺気腫などの呼吸器系疾患、糖尿病などの内分泌・代謝疾患などがあります。また麻酔中に様々な薬を投与するため、薬や食べ物に対するアレルギーも対象となります。他にも鎮静や鎮痛が必要となる検査が必要となる疾患、循環・呼吸状態が不安で全身管理が必要な疾患にも対応しています。

放射線科

部長
山田 晴耕



■ 概要

診断部門では、放射線診断医がCT・MRI・核医学検査を主とした画像診断に専従しています。また、画像ガイド下生検・ドレナージ、肝動脈化学塞栓術などの画像下治療（IVR: interventional radiology）をIVR専門医を中心に行っています。

治療部門では、放射線治療医ががんなどに対しリニアック（直線加速器）を用いた放射線治療を行っています。

■ 特徴

- ① 画像診断：詳細な画像診断を通じて偶発的に発見された悪性腫瘍などについての「想定外報告」での医療安全への寄与
- ② IVR：緊急を含めた多種多様な依頼に迅速に対応
- ③ 放射線治療：最新の医学的根拠に基づいた丁寧な治療

■ 対象となる疾患

- 画像診断、IVR：全身の各種疾患
- 放射線治療：悪性腫瘍（肺・前立腺・乳・喉頭・咽頭・子宮・食道がんなど）、造血幹細胞移植前（白血病、リンパ腫）、一部の良性病変

《予約時の注意点》

CT、MRI、核医学、骨塩定量（DEXA法）は医療連携室を通して予約をお取りください。IVR、放射線治療については、原疾患に対応する当院診療科へまずご相談ください。

予防医学センター

部長
郡司 俊秋



■ 概要

当センターは、人間ドック・健診を統括する科です。電子システム、診療設備、診療体制が2006年4月に一新され、新たに予防医学センターが発足しました。予防医学センターは、NTT東日本 関東病院の各診療科と密接な連携をとっているため、人間ドックで重篤な疾患が発見された場合でも、速やかに関東病院にて精密検査・治療を受けていただく事が可能です。

■ 対象となる疾患

がん（胃、大腸、肺、食道、肝臓など）や生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病など）の重大な疾患を、早期に発見する事（二次予防）さらには未然に防ぐ事（一次予防）を使命としています。

病理診断科

部長
森川 鉄平



■ 概要

当院で行われた全ての生検や手術検体の病理組織診断、細胞診断を行っています。また、他院から紹介された患者さんの病理標本の再診断や、パラフィンブロックを用いた免疫染色・遺伝子検査なども行っています。

当院での診療方針の決定にあたって、先生方のご施設で過去に生検・手術された病変の再検討が必要となる場合、病理標本の貸し出しをお願いすることがございますので、ご協力ください。

■ 特徴

- ① ダブルチェック体制による確実な病理診断
- ② 国際規格（ISO 15189）による臨床検査室の認定
- ③ 各種バイオマーカー検査への対応

集中治療科

部長
小松 孝美



■ 概要

術後患者、院内発症重症患者、重症救急患者などの患者さんを診療科を問わず収容し、集中的な治療・看護を行うことで早期の回復を目指す部門です。

■ 対象となる疾患

特定の疾患ではなく、患者の重症度に応じて、適応のある患者さんが収容されることとなります。



トップページ

詳細は
HPへ



TOPICS

当院のHOTな情報をタイムリーに更新しております。

例

TOPICS

「総合腫瘍外来」のご案内

診療日：毎週水曜日 午前中
対象：悪性腫瘍が疑われるもとの診療科に紹介すべきか判断に悩む症例ケース
※詳細は医療連携室 ([03-3448-6192](tel:03-3448-6192)) まで

連携ガイドブック（PDF版）

PDFデータをトップページに設置しておりますので、最新版をいつでもご確認いただけます。

登録医制度

詳細は
HPへ



登録医の主なメリット

- ・登録証を交付いたします。
- ・当院ホームページでご紹介させていただきます。
（顔写真や施設写真などの写真登録が、最大2枚まで可能です。）
- ・WEB紹介予約システム（e連携）をご利用いただけます。
- ・当院より広報誌や研修会・セミナー、メールマガジンなど、各種情報提供いたします。
- ・共同診療、図書館、研究室、駐車場などをご利用いただけます。
- ・かかりつけ医をお持ちでない患者さんに対して、登録医を優先してご紹介いたします。

登録内容の変更

登録内容の変更（住所変更・写真登録など）がある場合は、登録内容変更申請フォーム（WEB）もしくは 登録内容変更申請書（FAX）に必要事項を記入の上 お送りください。

連絡先一覧

詳細は
HPへ



医療連携室やホットラインなどの各連絡先を掲載しております。ぜひご活用ください。

例

各種ホットライン

ホットラインは医師が直接お電話口に出ます。
医療機関の先生方との専用ラインですので、患者さんには公表しないでください。
※患者さんからお電話いただいても、ご対応いたしかねます。

脳卒中ホットライン	TEL：03-3448-6599	24時間
胸痛ホットライン	TEL：03-3448-6292	24時間
大動脈ホットライン	TEL：03-6721-6308	24時間
腹痛ホットライン	TEL：03-3448-6012	平日9時～20時

救急センター

TEL：03-3448-6000

■受付時間

平日 17:00～8:30、休日24時間

[- 詳細はこちら](#)

勉強会・セミナー（医療従事者向け）

詳細はHPへ



当院で開催している勉強会やセミナーについての情報を、随時更新しております。申込方法は、各案内状に記載しておりますのでご覧ください。

例

開催日	申込締切日	勉強会・セミナー名	案内状
3月7日（木） 3月8日（金）	3月6日（水） 3月7日（木）	第6回 看護お役立ちWEBセミナー	PDF
2月27日（火）	2月26日（月）	膵臓がん医療連携セミナー	PDF

市民公開講座

2020年11月よりSTART!

詳細はHPへ



当院は、市民公開講座を隔月開催しております。毎回多くの方にご参加いただいております。市民の皆様が知りたい「医療に関するのあんなこと・こんなこと」について、当院のスタッフがお話しします。市民の方だけでなく、医療従事者の方にもご参加いただいておりますので、お気軽にご参加ください。

申し込み延べ人数は6,300名を突破!

過去最高!

申込人数：約400名



アクセス

五反田
gotanda

Gotanda



JR五反田駅から
徒歩約7分

都営地下鉄浅草線
五反田駅から
徒歩約5分



駐車場

シャトルバス

- 利用料金：100円（税込）／15分
- 利用台数：150台
- 利用時間：24時間



- JR五反田駅（東口）⇄ NTT東日本 関東病院
- 利用料金：無料
- 利用時間：平日 8時～17時45分





人と、地域と、“つながる医療”

NTT東日本関東病院

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

TEL : 03-3448-6111 (代表)

03-3448-6192 (医療連携室)



K24-00192 (2404-2504)